



VOL.156  
NOV.2010

# かしわ市議会だより

第 156 号  
平成 22 年 11 月  
発行 柏原市議会  
編集 市議会だより編集委員会  
柏原市 安堂町1番55号  
電話 972-1501(代表)  
FAX 971-8932  
Eメール gikai@city.kashiwara.osaka.jp

開かれた議会を目指して初の

## 議会報告会を開催

2会場で約160人が参加



文化センター会場には107名が参加（写真上）



公民館国分分館（国分出張所3階）  
会場には51名が参加（写真右）

柏原市議会では、議会改革の一環として、市民に開かれた議会を目指し、去る8月6日(金)文化センターと公民館国分分館において、初の議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに6月議会の活動内容等について報告・説明を行うとともに、議会活動に対する意見をお聴きするために開催しました。

なお、報告会の内容は、はじめに議会の活動状況、6月議会で審議した内容などを説明し、その後、質疑応答・アンケートの時間を設けました。

主なアンケート結果は、2ページに記載しています。

6月議会で審議した内容の報告として下記のことを報告しました。

### 報告者①

◎国民健康保険料条例の一部改正内容と国民健康保険事業特別会計補正予算について

### 報告者②

◎21年度児童手当と22年度の子ども手当について

◎市内循環バスの事故案について

◎国分中学校の通学路の改良改修事業の内容について

### 報告者③

◎柏原市内防犯灯のLED化推進について

◎日本脳炎予防接種委託料について

◎大和川を横断している弁天橋改修工事関連について

# 議会報告会に対する

# アンケート調査結果

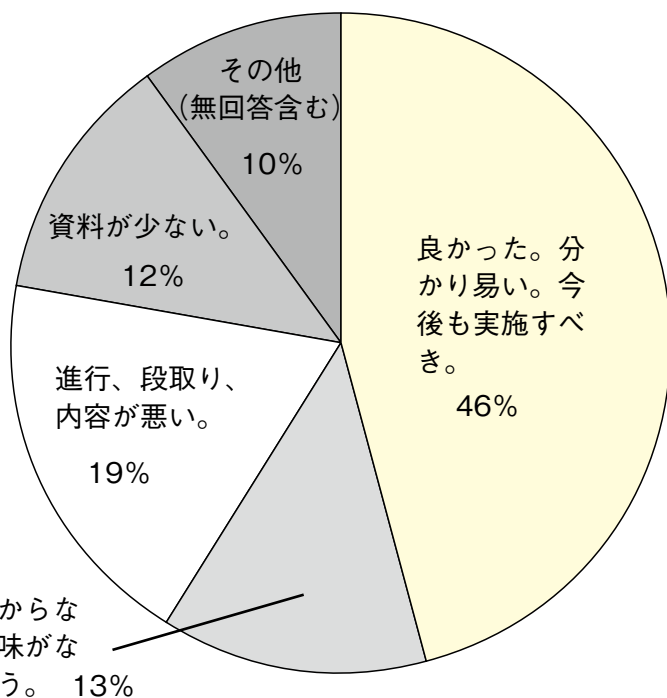
議会報告会に対するアンケート調査を実施し、以下のようなお答えをいただきました。

——— たくさんのご意見をいただきました。その一部をご紹介します。 ———

- もう少し市民の意見を取り入れる場を作って欲しい。
- 専決処分が多すぎる。

- 定期的に開催すべし。今までやっていないことがおかしい！市民の質問時間を十分とるように！
- 市民にわかりやすい報告をしてほしい。
- 市立柏原病院の赤字の対策
- 「見張り番」チラシについての対処
- 循環バスの将来をどうするのか。
- 議員数が多いと思う。
- 議員数の減には反対である。市民の窓口となるように
- 国民健康保険の財源の問題をどうするか。
- 柏原市の借金を増やさないためには、どうしたらよいか。
- カーブミラーの増設、子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を

## 議会報告会に対するご意見



議 会 日 誌		
平成22年（2010年）		
7月	29日	建設産業委員会現地視察
8月	2日	図書館協議会
	6日	議会報告会全体会
	8日	農業委員会
	12日	全員協議会
	20日	議会報告会全体会
	30日	大阪府市議会議長会総会・研修会 議会改革特別委員会 幹事長会議
9月	2日	公民館運営審議会
	3日	議会運営委員会
	6日	定例会議（議案説明）
	10日	農業委員会
	21日	定例会議（議案質疑・一般質問）
	22日	定例会議（議案質疑・一般質問）
	27日	市議会だより編集委員会
	28日	総務文教委員会
	29日	市民福祉委員会
	30日	幹事長会議
10月	29日	建設産業委員会
	30日	建設産業委員会現地視察
	1日	議会運営委員会
	4日	定例会議（委員長報告・採決）
	6日	市民表彰審査会
	8日	市議会だより編集委員会
	12日	土地開発公社役員会
	15日	農業委員会
		市議会だより編集委員会
		幹事長会議

# 平成22年 第3回定例会における討論から

10月4日に、柏原市議会議員定数条例の一部改正と、議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正に対する討論を行いました。討論の後、採決を行い、各議案は否決されました。討論の要旨については次のとおりです。

## 議員定数条例の改正に対する

### 賛成討論

現在、社会の多くの分野で改革が行われている。市内の民間企業という企業は、何らかの形で改革を行い、経営努力されている。

本市においても、市長が先頭に立ち、聖域なき改革を推進し、厳しい財政状況の中、市民要望に応えるため努力されている。

今回提案のあった議案第44号は、議員定数を18名から15名に削減するもので、市民5千人に議員1人と算定されており、妥当な議員定数と考えられる。

現在の社会情勢を踏まえ、議会も市民から議員の定数や報酬を削減すべきとの声が上がっているときに、議員として民意を真摯に受け止め、痛みの伴う改革を行うべきである。

議員定数を削減すると、議会機能や権限が弱くなると言われているが、これは定数の問題だけでなく、むしろ議員個人の資質の問題であり、議員一人一人が責任のある行動をとり、研さんを積んでいけば、行政へのチェック機能は十分発揮できると思う。

以上の観点から、私は議案第44号柏原市議会議員定数条例の一部改正について賛成するものである。

### 反対討論

今、地方分権化が進み、柏原市自らの権限で行う事務が増える中、これらに対して、議会の権限が及ぶことになり、議会の役割が拡大している。市民の暮らしと権利を守るために、さらに執行機関への監視機能を強化することはますます重要になっている。議会の役割が大きくなる時に議員を減らすのは、時代に逆行するのではないだろうか。定数削減をすれば議会が改革されるものでも、議員の質が高まるものでもない。

定数削減は、議員の地域代表的性格を無視し、多様な住民の意見さらに少数意見の排除につながるものとして、逆に議会の本来持つべき機能を低下させることになる。行財政改革の一貫で経費削減を理由にして議員定数を削減することは、結果的には、市民に最も身近な議会とのパイプを細くし、市民の声が届かなくなってしまうことになる。

今回の議案は、監視機能を持つ議会を弱体化し、議会制民主主義に相反するものである。また、議会の役割を不当に弱めるものであり、断じて認めるわけにはいかない。

## 議員報酬等に関する条例の改正に対する

### 賛成討論

今議会に提案された議案第45号議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正については、昨今の社会情勢を鑑みると、長引く不況の中、市民生活を取り巻く環境は非常に厳しく、市民の暮らしを守るため、議員報酬の削減を行うべきであると思う。

一部の議員から、市長と議会という二元代表制では、議員定数の削減や報酬の削減は、市長が提案するべきではないとの意見もあるが、それならば市民の中から上がっている報酬削減の声を聞き、議会自ら審議すべきものである。

以前、議員報酬の削減について市長から提案され、否決となった。しかし、理事者は給与を削減し、また、職員の給与も地域手当のカットなどで削減されていることを考えると、平成15年1月1日から平成17年9月20日までの間、議会自らが報酬を削減したように、痛みを伴う改革を行うのが、多くの市民から信託を受けた議員としての役目であると考えている。

この議案第45号議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について賛成するものである。

### 反対討論

第1の反対理由は、今回の提案のしかたは、二元代表制を否定し、議会制民主主義を踏みこじる暴挙であるからである。市長が監視機能を弱めるために、議員の処遇問題を相談もなしに一方的に出すやり方は許されるものではない。もちろん、議員の歳費をはじめ、議会費の削減に努めるのは当然のことである。柏原市議会として昨年、財政事情を考慮し、議員の政務調査費を7万円から4万円に削減し、また期末手当での加算率を20%から10%に減額したばかりである。これは、大阪府下33市の中で1番の減額率である。

第2の理由は、歳費にふさわしい仕事や役割を果たすための議会改革を、1年かけて行っている途中であるからである。与えられた後3年間で、市民に信頼される議会になるためには、議会・議員の本来の役割が発揮できるように質的向上を図り、頑張っており、頑張り続けなければならない。その結果を議論し、市民にとって、歳費にかかわりたくない柏原市議会であるという結論に至ったならば、議員自らが歳費を削減していくものである。



**関電道路の  
大型自動車通行規制について**  
柏原維新の会

**問** 3トン以上の大型自動車が通行規制されている通称関電道路を、最近、大型自動車（ダンプカー）が通行しているが、どのような状況になっているのか。

**答** この道路は平成7年頃、大型自動車（ダンプカー）の通行が



関電道路を通行する大型自動車

激しくなったことから、沿道の環境を守るため、3トン以上の車両の通行規制がかかり現在に至っている。

当道路を新たに大型自動車が通行する場合は、警察署の通行許可を受けてはじめて通行が可能となる。

通行時間帯については、午前9時から午後5時と聞いている。市としては、早朝や土日の通行につ

いては、パトカーによるパトロールの強化や通行違反の取締りを柏原警察署にお願いしているところである。

**問** 市に対して、残土を運搬する大型自動車（ダンプカー）の通行を許可するような申請は出されているのか。

**答** 現在、東山地区において事業者からの申請箇所は8箇所ある。そのルートについては、この関電

道路からの搬入路の申請はない。現在、監視カメラで1日30台の大型自動車（ダンプカー）の通行が確認されているので、行政指導の強化に努める。

**要望** 市で認めていないルートをなぜ警察署が許可するのか。地元住民の意向を無視した許可に対し、道路管理者である市は意見が言えないのか。通学路でもあり、早急に対策を講じられたい。

**市長から「議員定数の削減」  
18人から15人（3人減）を提案**  
公明党

**問** 今回、市長から「議員定数」を現在の18人から15人（3人減）を提案した理由を問う。

**答** 昨年3月の第1回定例会（この時も市長から「議員定数」を18人から16人に2人減を提案）以後の市民の声、本年3月末の行

財政健全化戦略のパブリックコメント、8月6日の「議会報告会」開催後に寄せられた声、そして財政健全化の取り組みへの協力といった点も踏まえ提案した。

**要望** 昨年3月18日付の朝日新聞の「異例の市長提案」として、「首長からの提案は法的には問題ないが大阪府内ではない」「行政の監視役の議員の手足を縛るような提案を市長が出すのは違和感」「ど

この自治体も財政難で議員を減らす、削減案を市長が提出するのは異例」としたうえで「議員定数は、多様な意見をいかに保障できるかが問題」としている。公明党は、「議員定数削減」に反対するものではない。しかし、二元代表制のもと、市長が削減しようとすることは、議会の弱体化を押し進めようとするものと思われる。



議場の風景

議員定数を行財政改革の視点だけでなく、市政の現状と将来の予測を十分考慮し、さらに市民の意見を聴取するため、参考人制度や公聴会制度を十分活用して決定するとされている。本市においても、市民の方々の幅広い意見をよく聞いて、審議する（仮）検討会を設け、苦しい財政状況の中で議会としてまず何をすべきか、また議員の定数等も含めて検討していきたい。

**柏原市まちづくり  
戦略会議議長について**  
市民の会

**問** 中司議長の現在までの成果と今後の処遇について問う。

**答** まちづくり戦略会議は平成21年12月に設置され、「柏原市の夢のあるまちづくりの実現に関すること」「効率的な行財政運営に関すること」「小さくてもききうり

と光るまちの創造に関すること」を所管事項として目標に掲げ、その実現に向け、協議・検討しているところである。

すでに、本年1月に行った予算公開ヒアリングで約5億円の削減を実現した。さらに、6月6日には柏原版事業仕分けを行い、市が実施している事業や行政サービスの中から選考された12事業について公開の場で外部委員の目でチ

ェックを行った。現在、仕分け結果に対しての検討結果をまとめ、平成23年度の予算編成、今後の市政に反映させていくものである。また、ワーキンググループによる活動などで将来の柏原市の姿の検討もされている。

長年、地方自治のトップとして行財政改革、地方分権などに携わられた知識と経験を有されており、戦略会議議長に適任と考えている。

**問** 昨年の第4回定例会の本会議で、中司議長が二審で有罪となれば辞めさせるとの答弁があった。判決は年内と思うが、仮に有罪であれば中司議長だけでなく、使われた市民の貴重な税金を返済し、市長も責任を取るべきではないか。

**答** 中司議長の報酬以下で働いている市民の方々はたくさんいる。それだけの価値があったとは思えない。柏

原市民のために仕事をしていた、大いにしている中司議長に失礼である。責任はいつでも取る。

**要望** 戦略そのものは長期であるため、1年で成果を出すことは難しいのはわかっている。中司氏個人の知識と経験について否定しているのではない。離職された市民の方の中から、キャリアのある方を選び、その方に市民の税金である報酬を支払うのが理想である。

## 学校・幼稚園に

### クーラー設置を

日本共産党

**問** 各学校・園での現在のクーラー設置状況と新学期が始まってからの熱中症対策について問う。

**答** クーラー設置状況は、校長室、園長室、保健室、職員室、支援教室、コンピュータ室等に設置しているが、財政状況を勘案して、

まず幼稚園の遊戯室を検討する。熱中症対策は、水分補給や運動場にテントを張って日陰を作ったり、頻繁に散水したり、体育館に業務用の大型扇風機を設置している。

**問** 近隣市の幼稚園遊戯室のクーラー設置状況を問う。

**答** 八尾市・羽曳野市・大阪狭山市・藤井寺市・松原市・河内長野市で設置されている。

**要望** 中学校は弁当持参で、運動クラブは朝練もしている。長時間気温の高いところに弁当を置くのは心配である。今後検討されたい。また、体育祭の練習も行われている。引き続き熱中症への配慮をされたい。

大阪府下でみると高槻市・大東市・門真市では小・中学校すべての教室にクーラーが設置され、また、豊中市・東大阪市・高石市・

田尻町では中学校のすべての教室に設置されている。

学校現場から、夏の補習などで暑すぎて子どもが集中しない、図書室にクーラーを設置してほしい、楽器が壊れるので音楽室に設置してほしい、教室は蒸し風呂状態で午後からは授業にならない等切実な声を聞いている。

今年は梅雨明けから気温が高く猛暑日が続き、そして、9月に入

っても35度を超す日が何日もあった。また地球温暖化が進む中、今後も気温の上昇が予想される。

本来子ども達が学校生活で一番長い時間を過ごす教室に設置してほしい。近隣の藤井寺市・八尾市・羽曳野市では設置されているが、年齢も小さく一番体力のない子どもを通う幼稚園の遊戯室に来年度是非ともクーラーを設置するよう要望する。

## 国分地域での乳幼児健診の

### 実施について

市民・民主クラブ

**問** 現在の乳幼児健診の状況を問う。

**答** 柏原市立保健センターでは、4カ月児健診をはじめに3種類の健診を毎月2回、午後1時半から実施している。受付、問診その他9カ所の部屋が必要となる。駐車

場の確保にしても保健センターは、これらの問題をすべてクリアしている。

**問** 1回の健診の参加者数を問う。

**答** 4カ月健診の場合、昨年度575名、月に2回行っているの

で1回の平均数は25名程度である。**要望** 先日7月22日の柏原地域保健医療協議会で「国分地域での乳幼児健診」の実施をお願いした。

また、実際に健診を見せていただいた。とてもいい環境の中で理想的な状況であった。ベビーカーが邪魔にならない所に数台並べられ、受付から健診がスムーズに受けられ、待合や心配ごとの相談もブライバシーが守られていた。フロアには、子どもを寝かせて輪になりボランティアが読み聞かせをされる部屋もあって、いろいろな配慮がなされていた。場所的には国分

出張所や国分図書館で健診を受けられるよう是非検討していただきたい。先日、健診の場に立ち会って、このような理想的ではなくとも、可能ではないかと思う。

1人目の子どもは楽であるが、2人目、3人目になると大変負担がかかる。少子化対策のためにも子育てしやすいベースをつくっていただきたい。国分地区で乳幼児健診が受けられるように要望する。



健診の待合室の様子

## 大和川親水公園の

### 今後の整備について

自由民主党政新会

**問** 大和川親水公園整備事業の整備計画および進捗状況について問う。

**答** 国豊橋南詰の上流側の河川敷（堤外民有地）に残っていた建物の除去作業が完了し、平成14年から国、府、市の三者が連携し

て取り組んできた用地買収も全体で177件に上る権利者の理解と協力のもとですべて完了した。国の大和川河川事務所において、現在、最後まで残っていた建物跡地付近の土壌調査を行っている。その結果で、汚染物質があれば、撤去作業が行われる。また、11月初旬から再築堤に着工し、平成22年度中に国事業の工事は全て完了すると聞いている。計画内容および



大和川親水公園のイメージ図

進捗状況は、国からのまちづくり交付金を活用し、平成22年度から24年度にかけて約3・2ヘクタールの公園整備をするもので、本年度は国事業の工事と並行し、緑化ブロックによる駐車場を上・下流の2カ所に合計85台分を整備する予定である。平成23年度は芝生広場、ジョギングや散歩ができる園路、防災機能を持つイベント広場・健康歩道を設置し、そして、平

成24年度には親水護岸整備とトイレの設置を予定している。

**問** 平成23年度に一部完成するが、その場所は供用できるのか。

**答** 工事を実施しない日であれば、完成部分の使用は可能である。

**問** 片山地区の用地買収状況は。

**答** 全体面積の58%の契約率となり今後努力していく。

**要望** 今後とも事業進捗に努力をお願いする。

# 議会・委員会の構成

議長	寺田 悦久 (てらだ よしひさ)	副議長	山下 亜緯子 (やました あいこ)	監査委員	中村 保治 (なかむら やすはる)
----	---------------------	-----	----------------------	------	----------------------

 <p>鶴田 将良 (つるた まさよし) 総務文教委員会 建設産業委員会</p>	 <p>藤森 洋一 (ふじもり よういち) ◎総務文教委員会 市民福祉委員会</p>	 <p>岸野 友美子 (きのの ゆみこ) 総務文教委員会 ◎市民福祉委員会</p>	 <p>石橋 實 (いしばしみのる) 総務文教委員会 建設産業委員会</p>	<p><b>総務文教委員会</b></p> <p>◇市長公室 ◇総務部 ◇財務部 ◇市民生活部（市民課・人権推進課） ◇会計管理室 ◇教育委員会 ◇まちづくり部 に関すること</p>
 <p>寺田 悦久 (てらだ よしひさ) 総務文教委員会 建設産業委員会</p>	 <p>中村 保治 (なかむら やすはる) 総務文教委員会 市民福祉委員会</p>	 <p>奥山 涉 (おくやま わたる) 市民福祉委員会 建設産業委員会</p>	 <p>山本 真見 (やまもと まみ) 市民福祉委員会 建設産業委員会</p>	
 <p>乾 一 (いぬい はじめ) 市民福祉委員会 ◎建設産業委員会</p>	 <p>計盛 佐登子 (かずもり さとこ) 市民福祉委員会 建設産業委員会</p>	 <p>大坪 教孝 (おおつぼ のりたか) 総務文教委員会 市民福祉委員会</p>	 <p>田中 秀昭 (たなか ひであき) 市民福祉委員会 建設産業委員会</p>	<p><b>市民福祉委員会</b></p> <p>◇健康福祉部 ◇市民生活部（保険年金課・環境保全課） ◇市立柏原病院および診療所 に関すること</p>
 <p>中野 広也 (なかの ひろや) 総務文教委員会 市民福祉委員会</p>	 <p>堅木 照久 (かたぎ てるひさ) 総務文教委員会 ◎建設産業委員会</p>	 <p>山下 亜緯子 (やました あいこ) 総務文教委員会 建設産業委員会</p>	 <p>濱浦 佳子 (はまうら よしこ) ◎市民福祉委員会 建設産業委員会</p>	
<p>一年間よろしく お願いいたします。</p> <p>◎は委員長、○は副委員長</p>		 <p>竹田 清一 (たけだ きよかず) ○総務文教委員会 建設産業委員会</p>	 <p>橋本 満夫 (はしもと みつお) 総務文教委員会 市民福祉委員会</p>	<p><b>建設産業委員会</b></p> <p>◇市民生活部（産業振興課） ◇都市整備部 ◇上下水道部 に関すること</p>



議 会 運 営 会 委 員 会	委員長 中 野 広 也	副委員長 大 坪 教 孝	濱浦 佳子 橋本 満夫 堅木 照久 鶴田 将良 乾 一

特 別 委 員 会 等	広 域 行 政 特 別 委 員 会	委員長 中 村 保 治	副委員長 竹 田 清 一	石橋 實 田中 秀昭 奥山 渉 大坪 教孝 中野 広也
	交 通 対 策 特 別 委 員 会	委員長 計 盛 佐 登 子	副委員長 岸 野 友 美 子	石橋 實 山本 真見 奥山 渉 藤森 洋一 乾 一
	まちづくり 特 別 委 員 会	委員長 竹 田 清 一	副委員長 大 坪 教 孝	山本 真見 田中 秀昭 濱浦 佳子 岸野友美子 堅木 照久
	議 会 改 革 特 別 委 員 会	委員長 奥 山 渉	副委員長 橋 本 満 夫	田中 秀昭 藤森 洋一 中村 保治 計盛佐登子 鶴田 将良 乾 一
	決 算 特 別 委 員 会	委員長 中 野 広 也	副委員長 計 盛 佐 登 子	濱浦 佳子 橋本 満夫 大坪 教孝 鶴田 将良 乾 一
	市議会だより 編 集 委 員 会	委員長 山 下 亜 緯 子	副委員長 岸 野 友 美 子	山本 真見 田中 秀昭 濱浦 佳子 奥山 渉 計盛佐登子

議 会 選 出 の 派 遣 議 員 ・ 委 員	東部大阪治水対策促進議会協議会委員	橋本 満夫 奥山 渉 堅木 照久
	大和川右岸水防事務組合議会議員	藤森 洋一
	八尾市柏原市火葬場組合議会議員	石橋 實 田中 秀昭 大坪 教孝 鶴田 将良
	長瀬川沿岸下水道組合議会議員	竹田 清一 中野 広也
	柏原羽曳野藤井寺消防組合議会議員	奥山 渉 中村 保治 乾 一 中野 広也
	柏羽藤環境事業組合議会議員	山本 真見 大坪 教孝 竹田 清一 堅木 照久 鶴田 将良
	藤井寺市柏原市学校給食組合議会議員	田中 秀昭 橋本 満夫 岸野友美子 藤森 洋一 計盛佐登子
	柏原市都市計画審議会委員	濱浦 佳子 橋本 満夫 奥山 渉 竹田 清一 計盛佐登子
	民 生 委 員 推 薦 会 委 員	岸野友美子 寺田 悦久
	国民健康保険運営協議会委員	岸野友美子 大坪 教孝 中村 保治 中野 広也
	地 域 保 健 医 療 協 議 会 委 員	岸野友美子 寺田 悦久
	柏原市民文化会館市民劇場委員会委員	岸野友美子 乾 一
	公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	石橋 實 田中 秀昭
	図 書 館 協 議 会 委 員	濱浦 佳子 中村 保治
	柏原市土地開発公社顧問	山本 真見 大坪 教孝 藤森 洋一 計盛佐登子 鶴田 将良 寺田 悦久 乾 一

## 9月議会で決めたこと

- ◇教育委員会委員（古川利章氏）の任命につき同意を求めることについて **以上、同意**
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇平成21年度決算に基づく柏原市健全化判断比率の報告について
- ◇平成21年度決算に基づく柏原市資金不足比率の報告について **以上、報告**
- ◇大阪広域水道企業団の設置に関する協議について
- ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算（第4号）
- ◇平成22年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算（第5号） **以上、原案可決**
- ◇柏原市議会議員定数条例の一部改正について
- ◇議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について **以上、原案否決**
- ◇平成21年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市水道事業決算の認定について **以上、閉会中継続審査**

## 決算特別委員会を開会します

平成22年11月4日（木）・5日（金）に決算特別委員会を開会します。この特別委員会では平成21年度の各会計の歳入歳出決算を審査します。  
（開会はいずれも午前10時、傍聴できます。）

## 意見書

第3回定例会で、議員提案により次の意見書1件が提出され、全会一致で可決し、関係行政庁等へ送付いたしました。

○子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

## 陳情等

○柏原市放課後児童会の改善について  
柏原市放課後児童会連絡会  
（以上の陳情は、理事者送付となりました）

○議員定数削減の中止を求める要望

河内の地方政治をよくする会  
（以上の陳情は、議長預かりとなりました）

## 委員会現地視察（市内企業訪問）を行いました

建設産業委員会が視察のため、7月29日に富士電線工業株式会社、9月30日に岡村製油株式会社を訪問しました。両社におかれましては、お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございます。今後ますますのご発展をお祈りいたします。



富士電線工業(株)にて



岡村製油(株)にて

## 第4回定例会（予定）

月 日	会 議 名	内 容
11月30日（火）	本 会 議	議 案 説 明
12月13日（月）	本 会 議	個 人 質 疑 ・ 質 問
14日（火）	本 会 議	個 人 質 疑 ・ 質 問
16日（木）	総務文教委員会	付 託 議 案 審 査
17日（金）	市民福祉委員会	付 託 議 案 審 査
20日（月）	建設産業委員会	付 託 議 案 審 査
24日（金）	本 会 議	各委員長報告・採決

※いずれの会議も午前10時からです。 ※日程は変更する場合があります。

## 編集後記

紅葉の美しい季節になり、今回、かしわら市議会だより第一五六号をお届けします。分かりやすく親しまれる紙面づくりに努め、議会が発信する情報がこれまで以上に、市民の皆様にとりまして、有益な内容となるよう私たちも日々研さんし、改善に取り組んでまいります。市民の皆様への積極的なご意見をお待ちしています。

編集委員

○山下亜緯子 ○岸野友美子

山本 真見 田中 秀昭

濱浦 佳子 奥山 涉

計盛佐登子

（◎は委員長 ○は副委員長）